

ふるさと歴史散歩

〔第17回〕吸江庵（尾首観音堂）

長福寺山の丘陵南東部の裾野に、尾首の観音堂と呼ばれる小さな堂宇がある。正式名称は吸江庵（きゅうこうあん）といひ、菅原守編「藝州府中荘誌」によると、明治時代以前は松崎八幡に附属していたが、江戸時代の寛政5（1793）年癸丑6月25日付で、八幡別宮の神主三宅撰津守正福が、藝州藩の許可を得て曹洞宗長福寺に譲渡し、た書付けがあるという。正徳2（1712）年に府中村の寺社を調べた「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」には、「八幡別宮耆社」に付随する寺院として、玉勝院・神前坊・神力院・法寿坊・行専坊の5ヶ寺が記録されているが、吸江庵は5ヶ寺とは別の独立した項目に記載されている。八幡別宮は神仏混淆の神社として玉勝院ほか5つの別当寺の宮僧が奉仕した。これらの5ヶ寺は、今は存在しないが、地名に残る。吸江庵は「禅宗、観音木造坐

仏、寛永10（1633）年焼失、夫より退転（衰退）之由申伝候、楠老本御座候」とある。天正17（1589）年に毛利輝元が広島城を築城し、国の経営に乗り出した頃、毛利氏は多くの寺社領を整理・再分配する目的で安芸・周防・長門・備後・石見・出雲・隠岐・伯耆の検地を行い、寺社の統制をはかった。この宗教政策は厳しく、種々の機会や口実を設けて寺社領を没収したため、多数の寺社が衰微し廃寺廃社となった。一方、広島市内の白神社や白島の礎神社、御調郡宮内村の八幡宮など由緒ある寺社には篤い崇敬を寄せ、寺社領を寄進し整備・保護に努めている。この天正検地の記録「八箇国御時代分限帳」によると、安芸国安南郡の条に「吸江庵 6石8升9合」が与えられている。同じ分限帳に「道隆寺 7石8斗3升2合」また「府中八幡

107石5斗1升」、「総社9石7斗7升4合」とあり、吸江庵と道隆寺の寺領には大差がないが総社は意外と少なく、反対に八幡宮の社領が格段に多いのは、5ヶ寺分が含まれていたからだけでなく別の理由（次号に解説）があった。また広島縣廳篇「広島縣史」には、「八幡宮址 松崎にあり、男山八幡の別宮たりしものなり、毛利氏の時、神田300石あり、浅野氏の時は、蔵米9石を附す、明治7年廃社となる」とあり、毛利時代には社領分が多く厚遇されていた。



吸江庵（尾首観音堂）

府中町文化財保護審議会会長 横田 禎昭

消費生活相談

20代に増えている！

ファイリエイトの相談

相談内容



SNSで知り合った人に誘われてオンラインゲームのファイリエイト（※）契約をし、契約金の20万円を支払った。「短期間で儲かる」と言われたが、儲からないので解約したい。業者は2年後に20万円は返金してくれるというが本当か。（20代 女性）

アドバイス



相談者から業者に苦情を伝えましたが、業者の返答はやはり、2年後に返金するとの事でした。相談者は返金条件の1つである年6回のセミナーへ参加しているのので、業者の返答に応じ、2年間待つてみるのとこのことで終了しました。

最近の相談をみると「友人やSNSで知り合った人からファイリエイトを紹介され、知り合いを勧誘して会員を増やせば収入が得られる」と説明された」というマルチ商法的な勧誘が目立ち、20歳代からの相談が多いのが特徴です。

親しい人や仲間からの勧誘は断りにくいものですが、経済的被害だけでなく人間関係を損なうこともあるので、契約の意思がない場合はきっぱりと断りましょう。

ファイリエイトは広告をクリックする人や商品を買ってくれる人を増やさなければ利益は得られません。簡単にお金を稼ぐことはできないので、勧誘時に説明された収入をあてにした無理な契約はやめましょう。

※ファイリエイトとは、一般的には提携先の商品広告を自分のウェブサイト上に掲載し、その広告をクリックした人が提携先から商品を購入するなどの場合、一定額の報酬を得られるというものです。



消費生活相談員による相談窓口

町民生活課（役場4階）
☎286-3128
月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～4時